



外観見上げ



外階段



4階住宅部分 リビング

広島市の電車通りに建つ5階建てのビルで、1～3階がテナント部分、4・5階がオーナー住宅という構成である。戦前より問屋街で栄えたこの地は、都市化して様変わりしているが、下町の風情は今も人々の中に息づいている。この地に生まれ育ったクライアントは、ここでの暮らしと人々の繋がりを大切に思い、都心に住み続けることを希望した。

この建物では、階段を大通りに面したオープンな空間としている。その空間を、大通りから住まいに至るまでの縦の「路地」と考えた。階段に格子を設け、心理的にも大通りと住まいの緩衝帯の役割を担っている。もう一つの工夫は、住居部分が地面に接していないと感じさせないということである。大きな吹き抜け空間に個室が繋がる構成にそれを委ねながら、吹き抜けをビルの谷間での採光や通風に利用し、子ども達の遊び場を至る所に仕掛けることができた。大きな吹き抜け空間は、家中を見渡すことができる第二のグランドフロアになった。



航空写真

住居部分の外壁は、既存コンクリートパネルと断熱材が一体化された材料を、型枠兼用にしてコンクリートに打ち込んだ。この外断熱工法とLOW-Eペアガラスの採用で、室内は温熱環境が飛躍的に安定した。また、室内の仕上げの大部分に火山灰を使った左官材料を用いることで、結露の防止と調湿効果を期待した。



エントランス

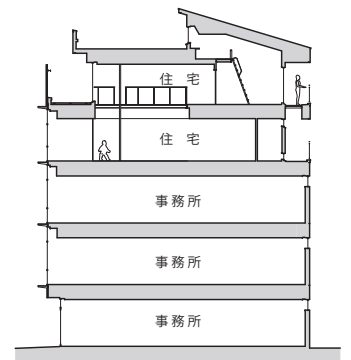


4階住宅部分 吹抜け



5階住宅部分 ベランダ

所在地	広島市中区
主要用途	テナントビル併用住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	5階建
面積	敷地面積 171.83㎡
	建築面積 141.77㎡
	延床面積 628.72㎡



断面図